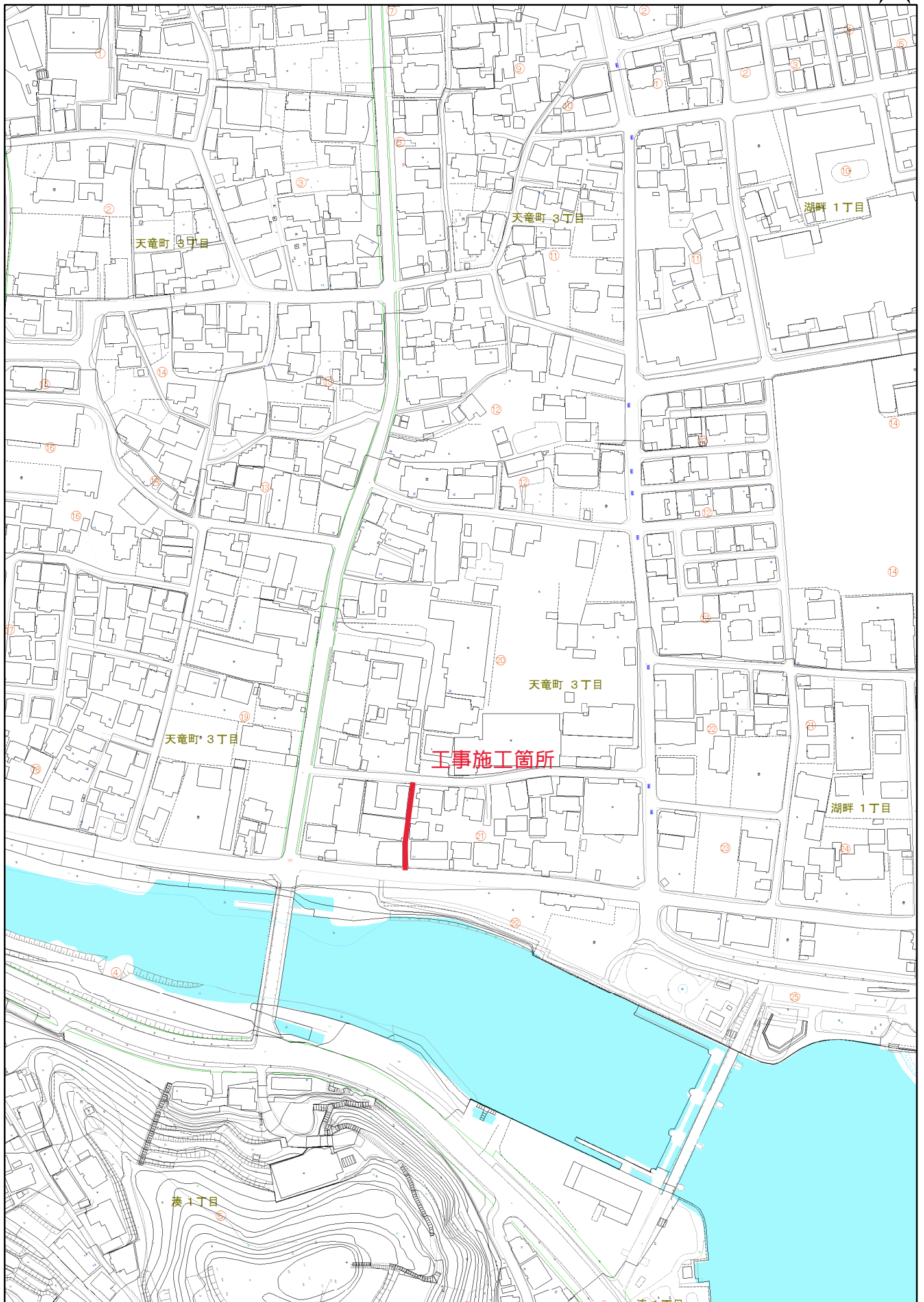


工事番号																	
設計者		主幹		副技監		課長		技監		部長		副市長		市長			
令和 7 年度 上水道工事（岡谷25号線）																実施設計書	
岡谷市 天竜町三丁目																	
設 計 大 要									施 工 方 法				請 負				
配水用ポリエチレン管（HPPE）φ 75mm L=1. 0m ダクタイル鋳鉄管（DIP（K））φ 75mm L=2. 5m 給水管切替 3箇所									施 工 期 間				日間				
									起工予定年月日				令和 年 月 日				
									竣工予定年月日				令和 年 月 日				
									契 約 保 証 方 法				金 銭 的 保 証				
									・ 別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・ この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。								

位置図



起 工 理 由

請 負 対 象 額

四

工 事 价 格

四

消費税等相当額

四

		当	初	第 1 回変更（増減）	第 2 回変更（増減）	第 3 回変更（増減）			
積 算 段 階	積 算 工 事 価 格								
	消 費 税 等 相 当 額								
	積 算 額								
契 約 段 階	工 事 価 格								
	消 費 税 等 相 当 額								
	契 約 額								
	増 減								
		B = A × 0.10 C = A+B D = Aに対する応札額 E = D × 0.10 F = D+E		B 1 = A 1 × C 1 = A 1+B 1 D 1 = A 1 × F / C E 1 = D 1 × F 1 = D 1+E 1 G 1 = F 1-F		B 2 = A 2 × C 2 = A 2+B 2 D 2 = A 2 × F 1 / C 1 E 2 = D 2 × F 2 = D 2+E 2 G 2 = F 2-F 1		B 3 = A 3 × C 3 = A 3+B 3 D 3 = A 3 × F 2 / C 2 E 3 = D 3 × F 3 = D 3+E 3 G 3 = F 3-F 2	
注) 積算工事価格：落札率を乗じず、消費税等相当額を含まない額。 積 算 額：積算工事価格に消費税等相当額を加算した額。 工 事 価 格：応札額、または積算工事価格に落札率を乗じた額で、消費税等相当額を含まない。 契 約 額：工事価格に消費税等相当額を加算した額。				D1 算 出	×	D2 算 出	×	D3 算 出	×

*** 本工事費 ***

費目・工種・施工名称など		数	量	単位	単	価	金	額	備	考
管布設工（材料費）			1	式					第1号科目	
管布設工（労務費）			1	式					第2号科目	
土工			1	式					第3号科目	
交通整理工			1	式					第4号科目	
直接工事費			1	式						
共通仮設費			1	式						
管材費			1	式						
率計算分			1	式						
純工事費			1	式						
現場管理費			1	式						

*** 本工事費 ***

費目・工種・施工名称など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
率計算分		1	式			
工事原価		1	式			
一般管理費等		1	式			
一般管理費		1	式			
率計算分		1	式			
契約保証費		1	式			
工事価格		1	式			
消費税等相当額		1	式			
本工事費		1	式			

工 種 明 細 表 科目 第1号 A00000000001 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	北工区	1	式			第5号科目
	南工区	1	式			第6号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第2号 A00000000006 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	北工区	1	式			第7号科目
	南工区	1	式			第8号科目
	仮設工	1	式			第9号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第3号 A30000 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	管布設土工	1	式			第10号科目
	舗装工 本復旧	1	式			第11号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第4号 A40000 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	交通整理工	1	式			第12号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第5号 A00000000002 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	HPPE- φ 75mm	1	式			第13号科目
	付帯工	1	式			第14号科目
	給水管切替(メ-タ-)PP- φ 20mm 仮設工材料流用	1	式			第15号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第6号 A00000000003 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	DIP-φ75mm	1	式			第16号科目
	付帯工	1	式			第17号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第7号 A00000000007 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	HPPE- φ 75mm	1	式			第18号科目
	付帯工	1	式			第19号科目
	給水管切替(メ-ター)PP- φ 20mm	1	式			第20号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第8号 A00000000009 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	DIP-φ75mm	1	式			第21号科目
	付帯工	1	式			第22号科目
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第9号 A00000000011 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ポリエチレン管据付工 呼び径20mm	60	m			第1号施工
	ポリエチレン管継手工 呼び径20mm	36	口			第2号施工
	小口径管ねじ込み接合 呼び径20mm	3	口			第3号施工
	合 計	1	式			

管布設土工

工 種 明 細 表 科目 第10号の1 A30100 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	20	m			第4号施工
	舗装版取壊し積込工 舗装厚0cm超え10cm以下 クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	35	m2			第5号施工
	アスファルト塊処理 ダンプトラック4t積、バックホウ山積0.28m3 DID区間有り 路面状態良好 運搬距離13km	5	m3			第6号施工
	アスファルト塊処理 ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3 DID区間有り 路面状態良好 運搬距離13km	1	m3			第7号施工
	アスファルト廃材処理費(AS掘削) マルコ自動車	3	t			
	小型バックホウ掘削積込 クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	11	m3			第8号施工
	発生土処理 ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3 DID区間有り 路面状態良好 運搬距離5.8km	11	m3			第9号施工
	整地 敷均し(ルーズ) 障害無し 施工数量標準(10,000m3未満)	11	m 3			第10号施工
	積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	11	m 3			第11号施工
	発生土処理 ダンプトラック10t積、バックホウ山積0.80m3 DID区間有り 路面状態良好 運搬距離18km	11	m3			第12号施工

工 種 明 細 表 科目 第10号の2 A30100 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	発生土処理費	11	m3			
	管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホ) タンバ 締固め 発生土 バックホ排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	7	m3			第13号施工
	管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホ) タンバ 締固め 洗滌砂 バックホ排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	4	m3			第14号施工
	管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホ) タンバ 締固め 再生クラッシャーラン 40mm以下 バックホ排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	3	m3			第15号施工
	合 計	1	式			

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	アスファルト舗装工(人力) 歩道部 密粒度アスコン(20F) 舗装厚30mm プライムコート	30	m2			第16号施工
	アスファルト舗装工(人力) 車道・路肩部 密粒度アスコン(20F) 舗装厚50mm プライムコート	6	m2			第17号施工
	不陸整正 補足材無し	36	m 2			第18号施工
	インターロッキングブロック撤去(市場単価) 撤去及び再設置 ブロック厚8cm 施工規模100㎡未満 時間的制約無	2	m2			第19号施工
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第12号 A40100 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	交通誘導警備員	14	人・日			第20号施工
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第13号 A00000000004 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	水道配水用ポリエチレンパイプ (EF受口付) 75×5.0	1	本			
	メカニカルジョイント (PEP×PEP) 75mm	2	個			
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第14号 A10300 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ロケティンクワイヤー	1	m			
	埋設表示シート	1	m			
	合 計	1	式			

(0700000048-0)

給水管切替(メーター)PP-φ20mm
仮設工材料流用

21頁

工 種 明 細 表 科目 第15号 A10700 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
EFサドル付分水栓						
75×20		3	個			
ポリエチレン管(軟質一種)						
20mm		60	m			
PPエルボ(一体型)						
20mm		18	個			
樹脂被覆フレキシブルパイプ F×PE回転 20×400		3	本			
ボール式伸縮止水栓(開閉防止型)						
20mm		3	個			
耐衝撃性硬質塩化ビニール管(直管)						
20×4.0		1	本			
伸縮継手(外ネジ・GP*VP)						
20mm		3	個			
HIソケット						
20mm		6	個			
NSPジョイント 分止水用						
20mm		3	個			
合 計						
		1	式			

岡谷市

工 種 明 細 表 科目 第16号 A00000000005 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	K形ダクタイル鋳鉄管直管 1種 75×4.0内面エポキシ粉体塗装	1	本			
	K形90° 曲管 (DIP) 75mm	4	個			
	同軸抜止押輪 (KTA-KH) (特押) 75mm	5	組			
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第17号 A10300 A02

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ロケティンクワイヤー	2.5	m			
	埋設表示シート	2.5	m			
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第18号 A00000000008 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ホ [°] リエチレン管据付工 呼び径75mm	1	m			第21号施工
	ホ [°] リエチレン管(メカニカル継手)布設工 呼び径75mm	4	口			第22号施工
	ホ [°] リエチレン管切断工 呼び径75mm	1	口			第23号施工
	ホ [°] リエチレン管切断工 撤去管 呼び径75mm	4	口			第24号施工
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第19号 A20500 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	管明示シート工	1	m			第25号施工
	ロケティングワイヤー工(ポリエチレン管)	1	m			第26号施工
	合 計	1	式			

給水管切替(メーター)PP-φ20mm

工 種 明 細 表

科目 第20号

A20600 A01

1

施 工 名 称 な ど		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
サドル分水栓建込み工 ポリエチレン管 配水管呼び径150mm 給水管呼び径20mm		3	箇所			第27号施工
ポリエチレン管据付工 呼び径20mm		60	m			第1号施工
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径20mm		1	m			第28号施工
ポリエチレン管継手工 呼び径20mm		36	口			第2号施工
小口径管布設(人力)据付工 呼び径20mm		0.9	m			第29号施工
小口径管ねじ込み接合 呼び径20mm		3	口			第3号施工
TS継手工 呼び径20mm		15	口			第30号施工
量水器取付け(ねじ込み接合) 呼び径20mm		3	箇所			第31号施工
止水栓取付け工 PP用 止水栓のみの取付 呼び径20mm		3	箇所			第32号施工
合 計		1	式			

工 種 明 細 表 科目 第21号 A00000000010 A01

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	铸铁管布設工(機械力) 吊込み据付 呼び径75mm以下	2.5	m			第33号施工
	メカニカル継手工 呼び径75mm以下	5	口			第34号施工
	铸铁管切断工(エンジンカッター使用) 布設管 呼び径75mm	2	口			第35号施工
	铸铁管継手取外し 呼び径75mm以下	1	口			第36号施工
	合 計	1	式			

工 種 明 細 表 科目 第22号 A20500 A02

1

施 工 名 称 など		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	管明示シート工	1	m			第25号施工
	ロケティングワイヤ工(鉄管)	1	m			第37号施工
	コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機) 削孔径90mm以上100mm未満 削孔深50mm以上200mm未満	1	孔			第38号施工
	合 計	1	式			

(0700000048-0)
ポリエチレン管据付工
呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第1号

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.07	人			
普通作業員	0.12	人			
合 計	10	m			
単位当り	1	m			
呼び径A = 02 20mm					

(0700000048-0)
ポリエチレン管継手工
呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第2号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.02	人			
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 02 20mm	融着接合B = 01 行わない(50mm以下)				

小口径管ねじ込み接合

呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第3号

2 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.02	人			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	3	%			
合 計	2	口			
単位当り	1	口			
呼び径A = 02 20mm					

舗装版切断
アスファルト舗装版
アスファルト舗装版厚15cm以下

施 工 内 訳 表 施工 第4号

名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリートカッタ損料 バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級 ブレード径 φ 56cm			供用日			
特殊作業員			人			
土木一般世話役			人			
普通作業員			人			
ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 cm)			枚			
ガソリン			L			
施工パッケージ単価		1	m			
合 計		1	m			
舗装版種別A = 01 アスファルト舗装版		アスファルト舗装版厚B = 01 15cm以下				

舗装版取壊し積込工
舗装厚0cm超え10cm以下
クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)

施 工 内 訳 表 施工 第5号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.56	人			
普通作業員	0.85	人			
小型バックホウ運転 クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	0.694	日			第39号施工
諸雑費	1	式			
合 計	100	m2			
単位当り	1	m2			
バックホウ種別A = 01 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)			舗装厚B = 01 0cm超え10cm以下		

アスファルト塊処理
ダンプトラック4t積、バックホウ山積0.28m3
DID区間有り 路面状態良好 運搬距離13km

施 工 内 訳 表 施工 第6号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	1 m3 当り 備 考
アスファルト塊運搬費 ダンプトラック4t積、バックホウ山積0.28m3 DID区間有り 運搬距離13km	1	m3			第40号施工
合 計	1	m3			
規格A = 04 4t積 バックホウ 山積0.28m3 運搬距離(km) B = 13 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 02 アスファルト塊		

アスファルト塊処理
ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3
DID区間有り 路面状態良好 運搬距離13km

施 工 内 訳 表 施工 第7号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	1 m3 当り 備 考
アスファルト塊運搬費 ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3 DID区間有り 運搬距離13km	1	m3			第41号施工
合 計	1	m3			
規格A = 01 2t積 バックホウ 山積0.08m3 運搬距離(km) B = 13 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 02 アスファルト塊		

小型バックホウ掘削積込

クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)

施 工 内 訳 表 施工 第8号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.8	人			
普通作業員	7.8	人			
小型バックホウ運転 クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	2.632	日			第39号施工
諸雑費	1	式			
合 計	100	m3			
単位当り	1	m3			
バックホウ規格A = 01 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)					

発生土処理

ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3

DID区間有り 路面状態良好 運搬距離5.8km

施 工 内 訳 表 施工 第9号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬費 ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3 DID区間有り 運搬距離5.8km	1	m3			第42号施工
合 計	1	m3			
規格A = 01 2t積 バックホウ 山積0.08m3 運搬距離(km) B = 5.8 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 01 発生土		

整地
敷均し(ルズ) 障害無し
施工数量標準(10,000m3未満)

施 工 内 訳 表 施工 第10号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
バックホウ[クローラ型]賃料 ～排ガス2014		日			
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
施工パッケージ単価	1	m3			
合 計	1	m3			
作業区分A = 02 敷均し(ルズ) 施工数量B = 01 標準(10,000m3未満)		障害の有無	C = 01 無し		

積込 (ルーズ)
土砂
土量50,000m3未満

施 工 内 訳 表 施工 第11号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型) 損料 標準型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3)		供用日			
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
施工パッケージ単価	1	m 3			
合 計	1	m 3			
土質A = 01 土砂		作業内容B = 01 土量50,000m3未満			

発生土処理

ダンプトラック10t積、バックホウ山積0.80m3

DID区間有り 路面状態良好 運搬距離18km

施 工 内 訳 表 施工 第12号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬費 ダンプトラック10t積 バックホウ山積0.80m3 DID区間有り 運搬距離18km	1	m3			第43号施工
合 計	1	m3			
規格A = 08 10t積 バックホウ 山積0.80m3 運搬距離(km) B = 18 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 01 発生土		

管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホ)
クハ 締固め 発生土
バックホ排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)

施 工 内 訳 表 施工 第13号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
小型バックホ運転 クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			第39号施工
クハ 運転(賃料) 60～80kg	3	日			第44号施工
諸雑費	1	式			
合 計	100	m3			
単位当り	1	m3			
埋戻材料A = 01 発生土		規格C = 01 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)			

管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホ)
クワ 締固め 洗滌砂
バックホ排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)

施 工 内 訳 表 施工 第14号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
小型バックホ運転 クワ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			第39号施工
クワ 運転(賃料) 60～80kg	3	日			第44号施工
洗滌砂	126	m3			
諸雑費	1	式			
合 計	100	m3			
単位当り	1	m3			
埋戻材料A = 02 洗滌砂 埋戻材数量(m3/100m3)B = 126		規格C = 01 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)			

管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホ)
クハ 締固め 再生クラッシャーラン 40mm以下
バックホ排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)

施 工 内 訳 表 施工 第15号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
小型バックホ運転 クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			第39号施工
クハ 運転(賃料) 60～80kg	3	日			第44号施工
再生クラッシャーラン 40mm以下	126	m3			
諸雑費	1	式			
合 計	100	m3			
単位当り	1	m3			
埋戻材料A = 04 再生クラッシャーラン 40mm以下 埋戻材数量(m3/100m3)B = 126		規格C = 01 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)			

アスファルト舗装工(人力)
歩道部 密粒度アスコン(20F)
舗装厚30mm プライムコート

施 工 内 訳 表 施工 第16号の1

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			
特殊作業員	0.8	人			
普通作業員	1.6	人			
⑤アスファルト混合物 密粒度 (20F)	7.26	t			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
振動ロータリ運転 ハットガイ式 0.5～0.6t	0.4	日			第45号施工, 機-23
振動コンパクタ運転 前進型 40～60kg	0.4	日			第46号施工, 機-23
砂散布費	3	%			
諸雑費	19	%			
合 計	100	m2			

アスファルト舗装工(人力)
歩道部 密粒度アスコン(20F)
舗装厚30mm プライムコート

施 工 内 訳 表 施工 第16号の2

名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
単位当り		1	m2			
アスファルト混合物種類A = 05 密粒度アスコン(20F) 歩車道区分B = 02 歩道部 [t]1層当り仕上り厚さC = 01 t ≤ 50			舗装厚(mm)D = 30 散布種類E = 03 プライムコート 砂まきF = 01 砂まき有り			

アスファルト舗装工(人力)
車道・路肩部 密粒度アスコン(20F)
舗装厚50mm プライムコート

施 工 内 訳 表 施工 第17号の1

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			
特殊作業員	0.8	人			
普通作業員	1.6	人			
⑤アスファルト混合物 密粒度 (2 0 F)	12.573	t			
アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	126	L			
振動ロータリ運転 ハットガイ式 0.5～0.6t	0.4	日			第45号施工, 機-23
振動コンパクタ運転 前進型 40～60kg	0.8	日			第46号施工, 機-23
砂散布費	3	%			
諸雑費	17	%			
合 計	100	m2			

アスファルト舗装工(人力)
車道・路肩部 密粒度アスコン(20F)
舗装厚50mm プライムコート

施 工 内 訳 表 施工 第17号の2

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
単位当り	1	m2			
アスファルト混合物種類A = 05 密粒度アスコン(20F) 歩車道区分B = 01 車道・路肩部 [t]1層当り仕上り厚さC = 01 t ≤ 50			舗装厚(mm)D = 50 散布種類E = 03 プライムコート 砂まきF = 01 砂まき有り		

不陸整正
補足材無し

施 工 内 訳 表 施工 第18号の1

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
モータグレート 損料 土工用・排出ガス対策型(第2次基準値) プレート幅3.1m		供用日			
ロードローラ 損料 マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m		供用日			
タイヤローラ 賃料 排ガス2次		日			
運転手(特殊)		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
土木一般世話役		人			
軽油		L			
施工パッケージ単価	1	m 2			
合 計	1	m 2			

施 工 内 訳 表 施工 第18号の2

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	1 m 2 当り 備 考
補足材料の有無A = 01 無し					

インターロッキングブロック撤去(市場単価)
撤去及び再設置 ブロック厚8cm
施工規模100㎡未満 時間的制約無

施 工 内 訳 表 施工 第19号

名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
インターロッキングブロック工 撤去 T = 6 cm、 8 cm 再利用目的		100	m2			
インターロッキングブロック工 設置 T = 8 cm 直線配置		100	m2			
インターロッキングブロック標準品 厚さ 8 cm		102	m2			
インターロッキングブロック標準品 厚さ 8 cm		2	m2			
洗滌砂		3.87	m3			
合 計		100	m2			
単位当り		1	m2			
規格・仕様区分A = 02 撤去及び再設置 ブロック厚8cm [S]施工規模B = 02 100㎡未満		規格・仕様区分(再設置)E = 02 設置 直線配置 ブロック厚8cm 敷材料種類(再設置)F = 04 洗滌砂				
[K1]時間的制約C = 01 無 [K2]夜間作業D = 01 無		敷材料厚さ(cm)(再設置)G = 3				

施 工 内 訳 表 施工 第20号

1 人・日 当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員 B	1	人			
諸雑費	1	式			
合 計	1	人・日			
交通誘導警備員Aの計上A = 02 計上しない 交通誘導警備員Bの計上D = 01 計上する	交通誘導警備員Bの配置人員 E = 1 交通誘導警備員Bの必要日数 F = 1				

(0700000048-0)
ポリエチレン管据付工
呼び径75mm

施 工 内 訳 表 施工 第21号

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.1	人			
普通作業員	0.18	人			
合 計	10	m			
単位当り	1	m			
呼び径A = 07 75mm					

ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工
呼び径75mm

施 工 内 訳 表 施工 第22号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.04	人			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 02 75mm					

(0700000048-0)
ポリエチレン管切断工
呼び径75mm

施 工 内 訳 表 施工 第23号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.01	人			
普通作業員	0.01	人			
諸雑費	7	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 07 75mm					

(0700000048-0)
ポリエチレン管切断工
撤去管
呼び径75mm

施 工 内 訳 表 施工 第24号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.003	人			
普通作業員	0.003	人			
諸雑費	7	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 07 75mm					

施 工 内 訳 表 施工 第25号

100 m 当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.4	人			
合 計	100	m			
単位当り	1	m			

ロケティングワイヤー工(ポリエチレン管)

施 工 内 訳 表 施工 第26号

名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ロケティングワイヤー		110	m			
普通作業員		0.1	人			
合 計		100	m			
単位当り		1	m			

サドル分水栓建込み工
ポリエチレン管
配水管呼び径150mm 給水管呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第27号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	1 箇所 当り 備 考
配管工	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	箇所			
配水管呼び径A = 04 150mm	給水管呼び径B = 01 20mm				

硬質塩化ビニル管据付工
呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第28号

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.07	人			
普通作業員	0.12	人			
合 計	10	m			
単位当り	1	m			
呼び径A = 03 20mm					

小口径管布設(人力)据付工

呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第29号

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.11	人			
普通作業員	0.12	人			
合 計	10	m			
単位当り	1	m			
呼び径A = 02 20mm					

施 工 内 訳 表 施工 第30号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.01	人			
普通作業員	0.01	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 03 20mm		単位B = 01 1口当たり			

量水器取付け(ねじ込み接合)

呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第31号

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.15	人			
普通作業員	0.08	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	箇所			
呼び径A = 02 20mm		メータ種別B = 01 普通			

止水栓取付け工
PP用 止水栓のみの取付
呼び径20mm

施 工 内 訳 表 施工 第32号

1 箇所 当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.042	人			
普通作業員	0.007	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	箇所			
種別A = 04 PP用 呼び径B = 02 20mm	取付補正区分C = 02 止水栓のみの取付				

鑄鉄管布設工(機械力)
 吊込み据付
 呼び径75mm以下

施 工 内 訳 表
 施工 第33号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.06	人			
普通作業員	0.13	人			
トラック運転 (クレーン装置付) ベーストラック 4～4.5t積 吊能力2.9t	1.21	時間			第47号施工,機-1
合 計	10	m			
単位当り	1	m			
呼び径A = 01 75mm以下					

施 工 内 訳 表 施工 第34号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.065	人			
普通作業員	0.065	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 01 75mm以下	割増率(%)	B = 30			

鑄鉄管切断工(エンジンカッター使用)
布設管
呼び径75mm

施 工 内 訳 表 施工 第35号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.03	人			
普通作業員	0.06	人			
エンジンカッター損料	0.03	日			
諸雑費	30	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 02 75mm					

(0700000048-0)
 鑄鉄管継手取外し
 呼び径75mm以下

施 工 内 訳 表 施工 第36号

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.03	人			
普通作業員	0.03	人			
諸雑費	1	%			
合 計	1	口			
呼び径A = 01 75mm以下					

ロケティングワイヤ工(鑄鉄管)

施 工 内 訳 表 施工 第37号

100 m 当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ロケティングワイヤ	110	m			
普通作業員	0.1	人			
合 計	100	m			
単位当り	1	m			

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）
削孔径90mm以上100mm未満
削孔深50mm以上200mm未満

施 工 内 訳 表 施工 第38号

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート穿孔機損料 電動式コアボーリングマシン(簡易仕様型) 最大穿孔径 φ 25cm		供用日			
発動発電機[ガソリンエンジン駆動]賃料		日			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
土木一般世話役		人			
ダイヤモンドビット 1 1 0 mm スタンダード		個			
ガソリン		L			
施工パッケージ単価	1	孔			
合 計	1	孔			
削孔径A = 04 90mm以上100mm未満		削孔深さB = 01 50mm以上200mm未満			

小型バックホウ運転

クローラ型 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3)

施 工 内 訳 表 施工 第39号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
軽油	17	L			
小型バックホウ(クローラ型)損料 標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.78	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 01 排対1次 山積0.08m3(平積0.06m3) 運転労務数量B = 1	燃料消費量C = 17 機械損料数量D = 1.78				

アスファルト塊運搬費
ダンプトラック4t積、バックホウ山積0.28m3
DID区間有り 運搬距離13km

施 工 内 訳 表 施工 第40号

名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 割増なし 4t積級 良好		1.43	日			第48号施工
合 計		10	m3			
単位当り		1	m3			
規格A = 04 4t積 バックホウ 山積0.28m3 運搬距離(km) B = 13 DID区間C = 02 DID区間有り				路面状態D = 01 良好 土質区分E = 02 アスファルト塊		

アスファルト塊運搬費
ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3
DID区間有り 運搬距離13km

施 工 内 訳 表 施工 第41号

10 m3 当り					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 割増なし 2t積級 良好	2.99	日			第49号施工
合 計	10	m3			
単位当り	1	m3			
規格A = 01 2t積 バックホウ 山積0.08m3 運搬距離(km) B = 13 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 02 アスファルト塊		

発生土運搬費

ダンプトラック2t積、小型バックホウ山積0.08m3
DID区間有り 運搬距離5.8km

施 工 内 訳 表 施工 第42号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 割増なし 2t積級 良好	1.3	日			第49号施工
合 計	10	m3			
単位当り	1	m3			
規格A = 01 2t積 バックホウ 山積0.08m3 運搬距離(km) B = 5.8 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 01 発生土		

発生土運搬費
ダンプトラック10t積 バックホウ山積0.80m3
DID区間有り 運搬距離18km

施 工 内 訳 表 施工 第43号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	100 m3 当り 備 考
ダンプトラック運転 割増なし 10t積級 良好	6.3	日			第50号施工
合 計	100	m3			
単位当り	1	m3			
規格A = 02 バックホウ 山積0.80m3 運搬距離(km) B = 18 DID区間C = 02 DID区間有り			路面状態D = 01 良好 土質区分E = 01 発生土		

(0700000048-0)
タンパ 運転(賃料)
60～80kg

施 工 内 訳 表 施工 第44号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
ガソリン	5	L			
タンパ(ランマ)賃料	1.38	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 01 60～80kg 運転労務数量B = 1	燃料消費量C = 5 賃料数量D = 1.38				

(0700000048-0)
振動ロー運転
ハンドガイト式
0.5～0.6t
機-23

施 工 内 訳 表 施工 第45号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
軽油	3	L			
振動ロー(舗装用) 損料 ハンドガイト式 運転質量0.5～0.6t	1.23	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 01 0.5～0.6t 燃料消費量B = 3	機械損料数量C = 1.23				

(0700000048-0)
振動コンパクタ運転
前進型 40～60kg
機-23

施 工 内 訳 表 施工 第46号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1	人			
ガソリン	5	L			
振動コンパクタ損料 前進型 機械質量40～60kg	1.4	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 01 前進型 40～60kg 燃料消費量B = 5	機械損料数量C = 1.4				

トラック運転
(クレーン装置付)
ベーストラック 4～4.5t積 吊能力2.9t
機-1

施 工 内 訳 表 施工 第47号

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	1 時間 当り 備 考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油	5.3	L			
トラック損料 クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	1	時間			
諸雑費	1	式			
合 計	1	時間			
規格A = 11 ベーストラック 4～4.5t積 吊能力2.9t					

ダンプトラック運転
割増なし
4t積級 良好

施 工 内 訳 表 施工 第48号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
運転手(一般)	1	人			
軽油	32	L			
ダンプトラック損料 オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 02 4t積級 損料割増B = 01 割増なし 路面状態C = 01 良好 運転労務数量D = 1	燃料消費量E = 32 機械損料数量(ダンプトラック) F = 1.29 機械損料数量(タイヤ損耗費) G = 1.29				

ダンプトラック運転
割増なし
2t積級 良好

施 工 内 訳 表 施工 第49号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
運転手(一般)	1	人			
軽油	21	L			
ダンプトラック損料 オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 01 2t積級 損料割増B = 01 割増なし 路面状態C = 01 良好 運転労務数量D = 1	燃料消費量E = 21 機械損料数量(ダンプトラック) F = 1.29 機械損料数量(タイヤ損耗費) G = 1.29				

(0700000048-0)
ダンプトラック運転
割増なし
10t積級 良好

施 工 内 訳 表 施工 第50号

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
運転手(一般)	1	人			
軽油	58	L			
ダンプトラック損料 オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
合 計	1	日			
規格A = 05 10t積級 損料割増B = 01 割増なし 路面状態C = 01 良好 運転労務数量D = 1	燃料消費量E = 58 機械損料数量(ダンプトラック) F = 1.29 機械損料数量(タイヤ損耗費) G = 1.29				

積 算 情 報 表

82頁

(0700000048-0)

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	現場環境改善費	計上しない
変更回数	当初	現場環境改善費地域	
積算基準 ^パ ターン	43:令和7年度基準	契約保証費率	0.04% : 金銭的保証
設計書番号	0700000048-0	契約保証方法	金銭的保証
当初・変更区分	0	起工予定年月日	令和 年 月 日
施行主体名	岡谷市	竣工予定年月日	令和 年 月 日
設計書名(1行目)	上水道工事(岡谷25号線)	施工期間	0日
設計書名(2行目)		工種名	開削工事及び小口径推進工事等
設計書名(3行目)		配管工加算有無	無し
工事箇所	岡谷市 天竜町三丁目	配管工加算率	0%
路線・河川名	岡谷25号線	週休2日	0:補正しない
工事番号			
設計年度	令和07年度		
単価適用地区	01 地区		
設計年月日	令和07年10月03日		
単価適用日付	令和07年08月01日(56)		
適用率	01 開削工事及び小口径推進工事等		
前払金支出割合区分	35%を超える		
共通仮設費補正	1.2:一般交通影響あり②		
現場管理地域補正	1.1:一般交通影響あり②		
現場管理冬期補正	0%		

岡谷市

岡谷25号線 配水管

配水管

[illegible]

上水道工事（岡谷25号線）

数 量 計 算 書

1.土工

2.材料集計表

土工計算書

舗装計算書

1. 土工

[illegible]

1.土工

(2)

数 量 計 算 書 (実施) 精算					
名 称	形 状 寸 法	計 算 式	単 位	数 量	
岡谷423号線					
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=5cm	$8.8 \times 2 + 0.6 \times 3 + 0.5 \times 2 = 20.4$	m	20	
舗装版取壊し	0.08t アスファルト舗装版t=10以下	$35.4 = 35.4$	m2	35	
舗装版取壊し	0.28t アスファルト舗装版t=10以下	$=$	m2		
アスファルト塊処理		$5.4 \times 0.05 + 30.0 \times 0.03 = 1.17$	m3	1	
アスファルト廃材処理費		$1.17 \times 2.3 = 2.691$	t	3	
バックホウ掘削積込	0.08t	$11.35 = 11.35$	m3	11	
バックホウ掘削積込	0.28t		m3		
発生土処理	現場～ヤード	$11.35 = 11.35$	m3	11	
発生土処理	ヤード～処分地	$11.35 = 11.35$	m3	11	
管路埋戻し	0.08t 発生土	$6.62 = 7$	m3	7	
管路埋戻し	0.28t 発生土	4.2	m3		
管路埋戻し	0.08t 洗砂	$3.5 = 3.5$	m3	4	
管路埋戻し	0.28t 洗砂	4.2	m3		
管路埋戻し	0.08t 碎石	$3.22 = 3.22$	m3	3	
管路埋戻し	0.28t 碎石		m3		

1.土工

(3)

数 量 計 算 書 (実施) 精算					
名 称	形 状 寸 法	計 算 式		単 位	数 量
岡谷25号線 復旧					
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=5cm			m	
舗装版取壊し	アスファルト舗装版t=10以下	=		m2	
アスファルト塊処理				m3	
アスファルト廃材処理費				t	
バックホウ掘削積込				m3	
発生土処理	現場～ヤード			m3	
発生土処理	ヤード～処分地			m3	
アスファルト舗装工	人力 再生密粒度As20F t=3cm	35.4	市道部 本復旧 = 35.4	m2	36
表層工	人力 再生密粒度As20F t=5cm		市道部 本復旧	m2	
表層工	機械 再生密粒度As20F t=5cm			m2	
不陸整正		35.4	35.4	m2	36

土 量 計 算 書

測点	断面積				距離(m)	平均断面積				C1(m ³)	S1(m ³)	S2(m ³)	S3(m ³)
	C(m ³)	S1(m ³)	S2(m ³)	S3(m ³)		C(m ³)	S1(m ³)	S2(m ³)	S3(m ³)				
北本線 75mm													
土工②	0.50	0.33	0.11	0.39									
	0.50	0.33	0.11	0.39	2.00	0.50	0.33	0.11	0.39	1.00	0.66	0.22	0.78
合計					2.00					1.00	0.66	0.22	0.78
南本線 75mm													
土工②	0.50	0.33	0.11	0.39									
	0.50	0.33	0.11	0.39	2.50	0.50	0.33	0.11	0.39	1.25	0.83	0.28	0.98
合計					2.50					1.25	0.83	0.28	0.98
給水切替													
給水	0.29	0.14	0.12	0.05									
	0.29	0.14	0.12	0.05	25.00	0.29	0.14	0.12	0.05	7.25	3.50	3.00	1.25
合計					25.00					7.25	3.50	3.00	1.25
既設管撤去													
	0.43	0.38		0.05									
	0.43	0.38		0.05	4.30	0.43	0.38	0.00	0.05	1.85	1.63	0.00	0.22
合計					4.30					1.85	1.63	0.00	0.22
合計					33.80					11.35	6.62	3.50	3.22

鋪 裝 計 算 書

[illegible]

現場説明事項・施工条件明示書

長野県岡谷市

工 事 名：上水道工事（岡谷 25 号線）

工事箇所名：岡谷市 天竜町三丁目

監 督 員：青木誠司

事業 財源：市単独費

工事の実施にあたっては、長野県建設部制定の土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準・土木工事現場必携及び、長野県企業局制定の水道施設設計基準・水道工事標準仕様書・給水装置設計施工基準、その他指定された図書を参考とし、かつ以下の事項について施工条件とする。

1-1 工事内容（岡谷 25 号線）北工区

工種	細工種	規格	数量	単位
配水管	配水用ポリエチレン管（HPPE）	φ 75mm	1.0	m
	給水切替		3	箇所

1-2 工事内容（岡谷 25 号線）南工区

工種	細工種	規格	数量	単位
配水管	ダクタイル鋳鉄管（DIP(K)）	φ 75mm	2.5	m

2 工期関係

（1）標準工程契約

予定工期は、着手の日から起算して 110 日間の予定とする。なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇・年末年始休暇のほか作業期間内の全土曜日を含んでいる。契約後、早急に打合せ、着手をお願いします。

3 通行制限及び工程関係

（1）通行制限について

市道岡谷 25 号線は、全面通行止めを予定している。規制を明確にするため、出入口部に規制看板を設置し対応すること。

市道岡谷 26 号線は、片側交互通行を予定している。通行影響を極力少なくするため、断水接続と合わせ施工すること。

近接・競合工事

本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので受注者間相互の連絡調整を密にして、その内容を監督員に報告して施工すること。

発注者	工事名	工期・工事内容	影響箇所	備考

(2) 地元・関係機関協議

着工にあたり、下記の内容を関係機関及び地元と行うこと。

関係機関等	協議事項	内容	時期
下浜区	工程・安全管理	通行規制・周知方法	本工事全般
諏訪ガス(株)	工程・支障管	支障管協議	本工事全般
沿線地権者	工程・通行規制等	安全確保・断水協議	本工事全般
隣接企業	工程・通行規制等	通行規制・断水協議	本工事全般

4 施工計画

(1) 施工体制台帳に記載を求める下請契約における県内企業の採用について

県内企業の振興や地域経済の活性化を図る観点から、「下請契約における県内企業の優先採用に関する特記仕様書（別紙－５）」に基づく取り組みを推進するものとする。

(2) 施工計画書

- ・ 共通仕様書 1-1-1-6（施工計画書）に基づき、設計図書、及び現場条件等を考慮し、現場での工事等の着手前に「施工計画書」を作成し提出すること。
- ・ 施工計画書の作成にあたっては、「土木工事現場必携」を参考とすること。
- ・ 工事内容に重要な変更が生じた場合（変更内容指示時点または変更契約時点）は、「変更施工計画書」（当初施工計画書を修正）を当該工事着手前に作成し、提出すること。

(3) 施工体制に関する事項

受注者は、適切な施工体制を確保し、下請負人を含む工事全体を把握して運営を行うこと。

特に社会保険への加入については、建設業の人材確保において重要な事項であることを踏まえ、自社はもとより、すべての下請について加入状況の確認を行うこと。

施工体制の適正な確保に関して作成する書類は、施工計画書に添付することとするが、別途提出としても差し支えない。

【施工体制に係る工事書類等】

- ① 契約書第7条に基づく「下請負人通知書」
- ② 「施工体制台帳」、「施工体系図」（「再下請通知書」含む。下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）
- ③ 下請負契約書、再下請け契約書の「写」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）

注）施工体制台帳作成対象としての下請負人の判断

事 例	施工体制台帳記載の有無 下請負人に関する事項、再下請通知書、下請契約書写、施工体系図、下請負人通知書含む	主任（監理）技術者の配置の有無
交通誘導警備員	契約書写しを添付	技術者の配置不要。ただし指定路線は資格者必要
産業廃棄物処理業者 （収集運搬業・処分業）	契約書写しを添付	技術者の配置不要
ダンプ運搬（1人親方のダンプ運転手）	①・ 人事業主として建設会社と契約した場合、台帳記載	技術者の配置不要
	②建設会社に車持ちで勤務し、建設会社と雇用関係にある場合は台帳記載不要	
1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約	業者間の契約が建設工事である場合は請負契約のため台帳記載	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
クレーン作業、コンクリートポンプ打設等、日々の単価契約で行っている場合	日々の単価契約であっても請負契約に該当するため、台帳記載を必要とする。	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
クレーン等の重機ホータを機械と一緒にリース会社から借り上げる場合	台帳に記載する	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要

（４） 関係機関への届出等

- ・ 工事に必要な届
- ・ 労働基準監督署への「建設工事計画届」、「機械等設置変更届」
- ・ 公安委員会への「道路使用許可申請」
- ・ 道路管理者への「道路通行制限願」
- ・ 河川内作業における漁協との工事打合せ簿等の「写」

5 用地関係

- （１） 借地等の復旧については原形復旧を原則とし、所有者、管理者等と立会いの上、借地期間内に返還までに完了すること。
- （２） 借地等の復旧箇所については、着手前の状況を写真や測量成果等で記録するとともに、境界杭や構造物の移動については引照点等を設けるなど適切な管理を行い、必要に応じて所有者等の立会いを実施し了解を得たうえで着工しなければならない。
- （３） 請負者側で必要な用地の借用及びこれに伴う諸手続きについては、請負者側で対応すること。特に「農地の一時転用」については、事前に地方事務所農政課、市町村、農業委員会等と調整をすること。

6 周辺環境保全関係

- (1) 現場発生残土等各種資材を搬出時には運搬車両等から土砂を確実に除去してから一般道へ出ること。なお、一般道が当該工事による原因で破損及び汚れた場合は請負者の責任において処理すること。
- (2) 過積載防止関係
 - ・ 県が定める過積載防止対策にそって必ず対策を行うこと。
 - ・ 取引メーカー業者から購入する各種材料（生コン・As・骨材等）や下請業者についても過積載防止対策の範囲とする。
 - ・ 対策について施工計画書（施工方法）に具体的に記載すること。
 - ・ 工事現場において過積載車両等が確認された場合、速やかに改善を行うとともに発注者にその内容を報告すること。
- (3) 住宅近接地域での騒音・振動等、水田や畑への排水の流出等の公害防止対策を事前に十分検討するとともに、問題が生じた場合は速やかに対処すること。

7 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、共通仕様書 1-1-40 に基づき労働災害、公衆災害防止に努めるとともに全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については工事期間中、月一回（半日）以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。
- (3) 交通規制箇所については、規制区間を極力短くすること。また、行事等の時期を把握し、地元の希望に沿う規制方法とすること。
- (4) 本工事においては、交通管理に必要と判断される誘導員を計上している。なお、近接工事なので交通量が著しく増減した場合や、道路管理者等からの要請により現場条件に著しい変更が生じた場合を除き原則として設計変更の対象としない。

8 残土、廃棄物関係

共通仕様書 1-1-1-23 第 3 項に規定される、再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理に基づき、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図ること

- (1) 建設副産物の処理に関する事項
 - ・ 本工事は建設リサイクル法対象工事であり、契約締結前に法第 12 条第 1 項の規定に基づいて、発注者に対し説明書の提出をもって事前説明を行うこと（様式は土木工事現場必携参照）。
 - ・ 本工事において生じる建設発生土及び産業廃棄物等の処分は、下記の条件を想定して処分費・運搬費を計上している。

- ・建設副産物処理費は、施設毎の処理費と運搬費の合計が最も経済的な処理施設を選定している。また、受注者においても、建設リサイクル法第5条の主旨に準じ建設副産物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めること。
- ・建設資材廃棄物は、建設リサイクル法9条に則りその種類ごとに分別すること。
- ・発生物のうち ― は、本工事の ― に使用するので、施工方法等を協議すること（想定物無し）。
また、発生物のうち ― は、他工区に使用するため現場内で引渡すので関係者や外部進入者等に危険とならないように保管すること（想定物無し）。
- ・工事に伴い生ずる廃棄物の処理については、受注者が廃棄物処理法上の排出事業者としての責任を有し、産業廃棄物の運搬・処分を他人に委託する場合には、「(5) 建設副産物の運搬・処理」によるが、当該産業廃棄物の処理の状況に関する確認及び、最終処分終了までの一連の処理行程における処理が適正に行われることを確認する措置等について、施工計画に定めること。
- ・「長野県産業廃棄物3R実践協定（平成25年4月1日名称変更）」締結事業者（排出事業者）にあっては、本工事における「産業廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用及び適正処理に関する自主的な取組状況等」について施工計画に定めること。

（2）建設発生土に関する事項

引渡場所・仮置場所	処分方法	特記事項
仮置場：仮浄水場北側（任意） 処分地：矢島建材（任意）		

※ 処分地を変更する場合は、発注者と協議を行うこと。なお、受注者の都合により処分先を変更した場合は、原則として設計変更しない。

（3）特定建設資材に関する事項（建設リサイクル法）

- ・受注者は発注者から「通知書」の「写」を受け取ること。
- ・受注者は下請負がある場合、下請負業者に対し、「通知書」の「写」を添付して「告知書」にて告知すること。
- ・再資源化等が完了した時は、発注者に「再資源化等報告書」にて竣工時に報告すること。

種 別	処理場名	備考
発生土処分	矢島建材	
アスファルトコンクリート塊	マルコ自動車	
セメントコンクリート塊	無筋	
	鉄筋	
	二次製品	
建設資材木材		

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

（4）産業廃棄物（建設廃棄物処理指針 H22 環境省）

- ・産業廃棄物の処理に関する設計条件は下表のとおりである。

種 別	処理場名	備考
木くず(抜根・伐採材)		伐採は公園管理を熟知する業者
汚 泥		

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※積算に用いる木くず処理量の体積 ― 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用いる。なお、体積(m³)での確認となる場合は、体積を確認できるよう1台毎写真管理すること。

種 別	処分条件	備考
その他（金属くず他）		

（５） 建設副産物の処理

- ・建設副産物を産業廃棄物として運搬・処分業者に委託する場合は、廃棄物処理法に基づく委託基準に従い、書面による委託契約を締結すること。
- ・廃棄物の運搬・処分を業とする「許可証」を確認し、その「写」を委託契約書に添付すること。
- ・下請負業者が産業廃棄物の運搬・処分を行う場合でも、下請負契約とは別に委託契約を締結すること。
- ・「マニフェスト（産業廃棄物管理票）」により適切に運搬・処分されているか確認を行うこと。土木工事現場必携を参照し、廃棄物種類ごとの集計表をしゅん工書類に添付すること。
- ・受注者は施工計画書に以下の事項を記載する。

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処分先 (処理業者)	業者名				
	住所				
運搬委託先 (委託の場合)	業者名				
	住所				
その他	資源化の方法など				

（施工計画提出時に必要な書類等）

- ・処理先の許可書の写し及び収集運搬業者の許可書の写し（収集運搬を委託する場合）
- ・受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し（施工体制台帳に添付する）
- ・処理業者の所在地及び計画運搬ルート
- ・下請けがある場合は、告知書の写し

（６） 再生資源の利用促進

- ・工事目的物に要求される機能を確保し、再生資源の利用に努めること。また再資源化施設の活用を図ることにより、再生資源の利用を促進すること。
- ・再生資源の利用促進への取り組み方針、再生資材により設計されている工事材料の選定、施工等、及び、工事に使用する再生資材の選定、施工等について施工計画に定めること。

（７） 再生資源利用等実施書の提出

- ・施工計画書提出時に、「再生資源利用計画書」・「再生資源利用促進計画書」を作成し提出すること。
- ・しゅん工時に、「再生資源利用実施書」・「再生資源利用促進実施書」を作成し提出すること。
- ・作成は指定されたシステムにより行い、実施書は電子データ納品すること。
- ・対象は量の多少にかかわらず、建設副産物が発生する工事の全てとすること。

（８） 処分量の確認

建設副産物の処分量を確認するため、監督員から請求書、伝票等の提示を求められた場合は応じなければならない。

.9 品質及び技術管理関係

(1) 工事カルテ作成、登録について

請負者は、工事請負代金額 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）入力システム（（財）日本建設情報総合センター）に基づき「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けた後に、直ちに登録を行い発行された「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出する。提出期限は以下のとおりとする。

- ・ 受注時登録の提出期限は契約締結後 10 日以内とする。（土、日、祝日等を除く）
- ・ 完了時登録の提出期限は工事完了後 10 日以内とする。
- ・ 施工中に、受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から 10 日以内とする。

10 その他

(1) 常に意識を持ってコスト縮減に取り組み、設計に反映できるように努める。

(2) 建設現場における福祉改善や労働時間の改善、または地域住民に対する工事現場の開放や PR など、建設産業に対する理解の増進に資する事業の実施等の構造改善対策にも配慮する。

(3) 暴力団関係者等から工事妨害などの被害を受けた場合は、速やかに被害届を警察に提出する。

(4) 着工 7 日前には関係者全員（区長、地権者、隣接者）への挨拶をすること。

(5) 竣工書類はエイナーファイル A4S 型（W4S 4 穴ハトメなし 白）に綴じて提出すること。

(6) 境界の控えは掘削前に必ずとり、コンクリート柱への入替えを行うこと（やむを得ない場合はプレートまたは鋳）。また設置にあたっては、地主及び監督員に確認をとること。

(7) ポリエチレン管は一種二層管とする。

(8) 融着時のチャックは必ず行なうこと。

11 質問書について

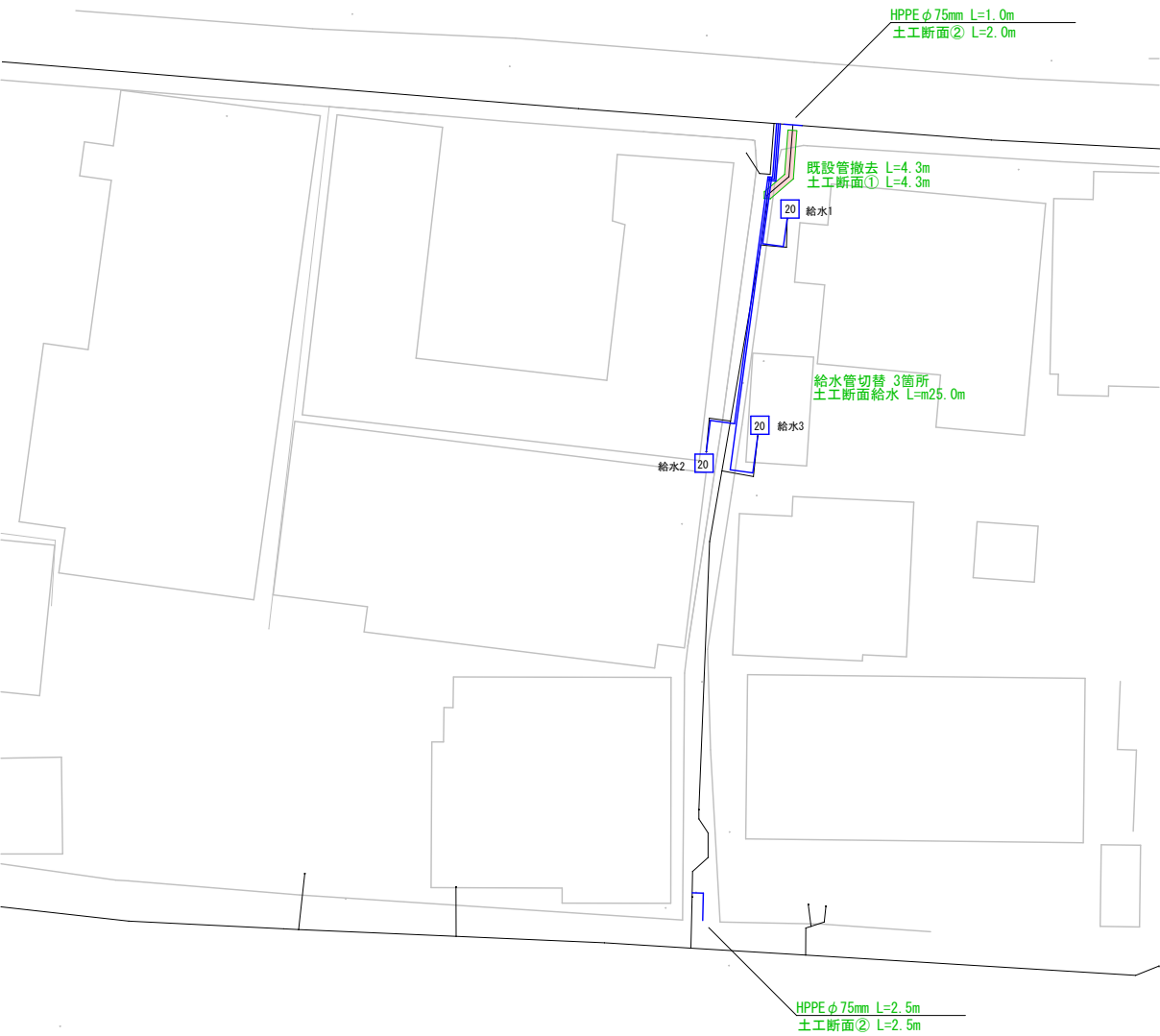
(1) 設計図書、施工条件明示書、特記仕様書に関して、質問がある場合は、『質問書』により受け付けます。（FAXでも可能）

- (2) 質問は、入札日の前々日の正午までに（その日が閉庁の場合は、入札日までに前々日の正午）、財政課に行う。
- (3) 回答は、入札日前日の正午までに財政課までに財政課より F A X にて全指名業者に通知します。

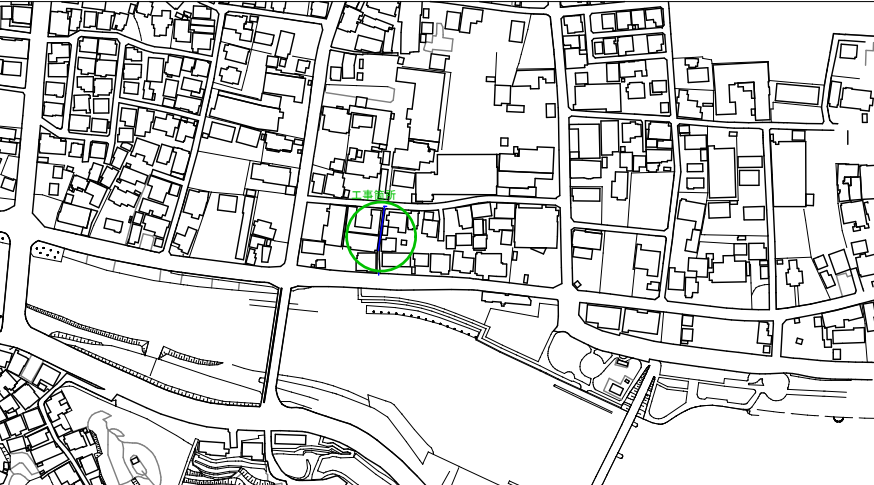
1 2 契約変更について

- (1) 契約後は、速やかに起工測量を行い現地と設計の精度を確認し、監督員と協議を行うこと。
- (2) 変更に係わる内容は、事前に監督員へ報告を行うこと。事後報告で工事を行った場合は、基本変更対象にならない。

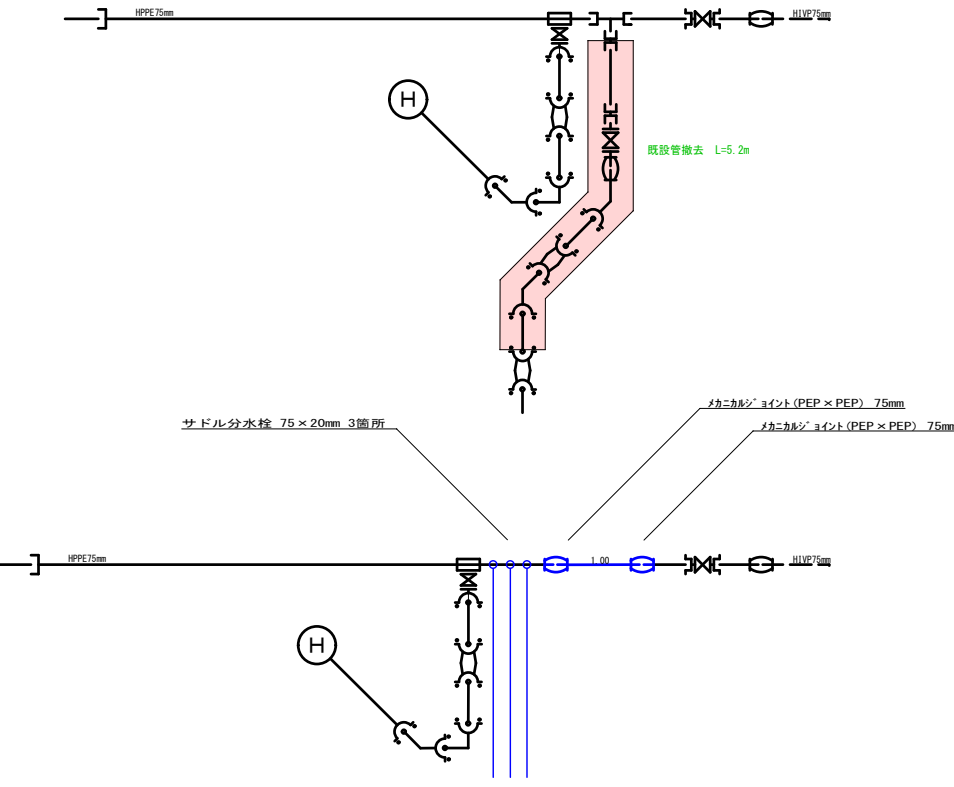
平面図（A工区）
S=1 : 500



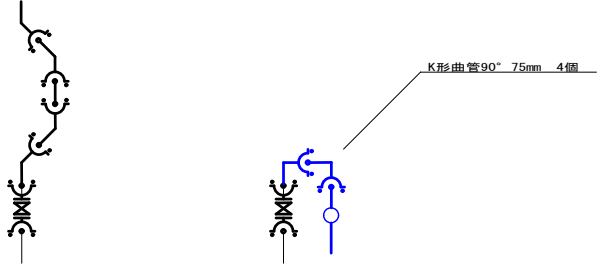
案内図
S=1 : 2,500



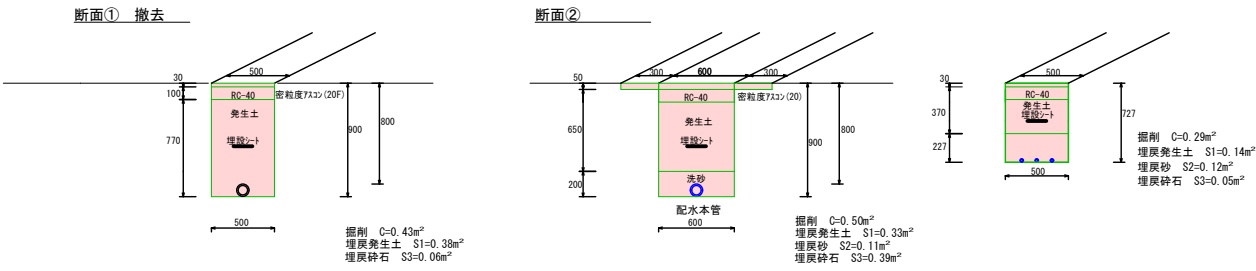
配管詳細図（北工区）
S=FREE



配管詳細図（南工区）
S=FREE



断面図
S=1 : 30



工事名 令和7年度 上水道工事（岡谷25号線）	工事箇所 岡谷市 天竜町三丁目	担当 建設水道部 水道課上水道担当	部長 仲田	技監 宮本	課長 武居	主幹 米山	照査 米山	設計 青木	図面名 全図	縮尺 図示	図面番号
----------------------------	--------------------	-------------------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------	------